

第63回文化財防火デー合同消防訓練

平成29年1月24日、高松市仏生山町法然寺にて自衛消防隊と高松市消防団第二方面隊（仏生山分団、三谷分団、多肥分団）、及び高松市南消防署が有事の際に相互協力体制を確認することを目的に合同消防訓練を実施しました。訓練想定は同日14時頃、法然寺五重塔で発生した火災が延焼拡大したとの内容です。当訓練の趣旨でもありますが、「先人から受け継がれてきた文化財や伝統的価値のあるものを後世の人たちに伝えることは、現代を生きる私たちにとって大切な役割であります。火災拡大防止はもとより、発生しないための火災予防を大事にしていきます。」と法然寺さんは述べられていました。

1. 五重塔北面からの出火（訓練）の様子。
近日は乾燥した天候が続いており、火気の取扱いには十分に注意が必要と思われました。



2. 自衛消防隊の初期消火班2名が現場へ向かっています。同時に参拝者への注意喚起も必要となります。



3. 現場到着した消防団・消防署員へ情報提供が行われています。現場指揮本部へ負傷者発生情報が寄せられ、人命救助並びに周囲への延焼防止が下命されました。



4. 活動方針が決定され、消防団員が周囲の延焼防止の為にホースを延長しています。地元分団を中心に、中継送水方法を確認しました。



5. 特別救助隊が負傷者を救出し、救急隊へ引き継いでいます。



6. 二線放水が開始され周囲への延焼防止が図られています。

